

Link!

第6号

Contents — もくじ —

- P1 **Hot Topic!**
国際交流フェア 2017
- P2 インタビュー企画「種まく人」
つくばインターナショナルスクール校長
シェイニー・クロフォード 氏
- P3 **Zoom Up!**
① 世界お茶のみ話
② メディカル英会話講座
- P4 Reports & Notice Board

Hot Topic!

国際交流フェア 2017

平 成29年5月13・14日につくばフェスティバル2017がつくばセンター広場・大清水公園を会場に開催され、つくば市国際交流協会は、つくばセンター広場にて国際交流フェア2017を同時開催いたしました。

国際交流フェアは、国際協力や国際交流の体験を来場者に提供し、同時に、出店者と来場者のコミュニケーションを通して、双方に国際交流の楽しさややりがいの芽を育てていただくことを第一の目標にしております。

参加していただいた団体には、各国の文化を象徴するような食品や物品の販売、特設ステージでの演奏やダンスを通して、国際交流に御協力いただきました。参加団体の国は、日本を含めて18ヶ国あり、その他に、外国人学校が4校参加いたしました。

各国の食品・物品を販売するブースでは、お昼時に特に賑わいを見せていました。また、ステージ発表も、多くの方に見ていただくことができました。素敵な音楽や目を引くきらびやかな衣装を目にして、足を止める方も多数いらっしゃり、はじめてから終わりまで、客席には人があふれていました。

来年の国際交流フェアにおきましても、来場者・出店者・ステージ出演者等、関わる人全てに楽しんでもらえるような有意義なフェアになるように、努めていきたいと思ひます。

	参加団体	参加国
ブース	24団体(2)	アメリカ・ペルー・アルゼンチン・イギリス・フランス・トルコ・ケニア・セネガル・ベトナム・タイ・スリランカ・インドネシア・ロシア・韓国・日本(15ヶ国)
ステージ	10団体(3)	朝鮮・インドネシア・ベトナム・韓国・タジキスタン・セネガル・ブラジル
エンジョイ・ザ・ワールド	1団体	筑波大学の留学生グループ

() は外国人学校





種まく人 ~Seedfolks~

つくばインターナショナルスクール校長 シェイニー・クロフォード氏

国際的な教育プログラムである国際バカロレア(IB)の初等教育課程 (Primary Years Program=PYP)・中等教育課程 (Middle Years Program=MYP)・高等教育課程 (Diploma Program=DP) 実施校の認定を受けたつくばインターナショナルスクールの校長先生であるシェイニー・クロフォードさんにお話を伺いました。

私の歩み

海外の生活に興味のあった私は、大学卒業後、色々な国の仕事に応募し、最初に日本の福島県南会津郡田島町の英語指導助手の仕事を得ることができました。1995年、私が24歳のときでした。そして、南会津の中学校で2年間英語を教えた後、会津若松市の国際交流協会に、観光で来日する母に案内する名所を問い合わせたことがきっかけで、国際交流員として働くことになりました。その後、約3年間交流員として働いた後、家族が待つ母国カナダに帰国しました。

カナダでも日本との繋がりを求め、日本の総領事館とJapan Societyに勤務

しました。毎日日本のビデオを観たり、日本の友達から情報を収集して日本の動向を気にしたりしていましたが、やはり日本で生活したい気持ちを抑えきれず、再度来日を夢見るようになりました。

そこで、昔から図書館情報学に興味があった私は、日本の文部科学省の奨学金制度を申請し認められ、図書館情報大学（現筑波大学）大学院で修士課程を学べることになりました。2002年のことでした。

修士課程終了後は、公立図書館で司書になりたかったのですが、外国人は公務員になれないなど制約があり、研究所で通訳や翻訳の仕事を始めました。しかし、他人の論文等を翻訳する仕事は、自分が作り上げたものではなく、自分の能力を最大限活かしていない気がしていました。

つくばインターナショナルスクール (TIS) とは、私が修士課程専攻の生徒であった2004年からボランティアをしており、繋がりがありました。2007年に就任した新しい校長先生は、国際基準に沿った国際バカロレアの学校を目指しており、私は、正式な職員として一緒に働いてほしいと、熱心な説得を受けました。こうして、TISに勤務することになったのです。



つくばインターナショナルスクール (TIS) にて

当時、校長先生はTISを学校法人にするため茨城県との交渉など外部の調整を担い、私は国際バカロレア認定に向けた内部の調整を主に担当していました。2009年には現在のつくば市上郷にあるログハウス風校舎が完成し、同時に学校法人化にも成功しました。しかし、2011年東日本大震災1週間後に校長先生が急逝し、予期せず、私が校長の職を引き継ぐことになりました。

前校長先生は、2008年から国際バカロレアの初等教育課程 (Primary Years Program=PYP) の認定申請を進めておりましたが、奇しくも、前校長先生の急逝後、2011年11月認定されました。その後、震災でいったん減少した生徒数も順調に回復し、2014年には中等教育課程の認定を取得、2016年には国際バカロレアの基準に沿った実験室等を完備した新しい校舎も完成しました。そしてついに、2017年5月には高等教育課程 (Diploma Program) の認定を受け、TISは、3歳から18歳まで一貫した国際バカロレア校となりました。

つくば市国際交流協会に期待すること

会津若松市の国際交流協会で働いていた経験から考えると、つくば市に欠けているのは、外国人との繋がりがだと思います。外国人に日本語を教えるなど、一方的な発信ではなく、皆で協力して何かを作り上げ、交流を図っていくことが、大切だと思います。また、来日中の外国人が何でも相談できる環境を作ることにより、お互いの信頼関係構築につながると思います。本心での交流ができてこそ、つくば市国際交流協会が、外国人にとって自分の意見を言える場になると思います。



事業報告① **ZOOM UP!** 世界お茶のみ話

つくばには140か国を超える国から8800人以上の外国人が在籍しています。ということは、つくばには多様な文化や習慣などが存在することになります。私たちには知らないことが多くあります。本年2月から、「世界お茶のみ話」

つくばには140か国を超える国から8800人以上の外国人が在籍しています。

と題して、そんな外国人の母国を紹介したり、海外で活動する日本人に講師となって発表いただいて、世界で何が起きているのか、または、何か課題があるとしたら、その解決の一助となるような話し合いができればと考えています。

今回は、第8回ブラジル編です。

～一杯のお茶から世界が見える～「世界お茶のみ話」は、毎月第3土曜日、15:45～17:15まで。BiViつくば交流サロンで開催しています。参加費は無料ですので、ぜひお越しください。



第5回 東ティモール編：講師 鈴木 直喜氏



第3回 ネパール編：講師 ルバ・シン氏

事業報告② **ZOOM UP!** メディカル 英会話講座

平成29年1月12日から2月16日までの毎週木曜日午後7時半から午後9時の時間帯に、メディカル英会話講座という医療従事者向けの英会話講座を開講しました。この講座は、病院受診の際の一連の流れ（受付から問診表の記入、医師の診察、支払や保険の説明、次回の予約）を英語対応できるようにするための1回完結型講座として、平成28年度にはじめて実施した実践型英会話講座でした。

取り扱い診療科は、内科・小児科、皮膚科、眼科、産婦人科、歯科、薬の処方と多岐に渡り、各回定員40名の講座は予想以上の反響があり、歯科に関しては定員以上のお申込みがありました。

参加した医療従事者の方の多くは、役に立つ実践的な講座だとよい評価をしてくださり、また、日本と外国の医療の違いについて、講師の実体験に基づいた話も大変参考になっ

たという御意見も非常に多くいただき、大変好評でした。

たという御意見も非常に多くいただき、大変好評でした。

当協会では、外国人が、母語での安心した医療機関受診を可能にするため、病院等での外国人患者と日本人医療スタッフ間のコミュニケーションをサポートする「医療通訳ボランティア」を派遣していますが、急な外来患者に対しては派遣が難しいので、医療機関での外国人対応が円滑に行われるよう、今後もサポートしてまいります。



Reports

セネガル料理教室

平成29年7月29日にセネガル料理教室を並木交流センターで実施しました。セネガル出身のシーディ・ファイさんとファイ・美幸さんを講師としてお招きし、マフェと呼ばれるラムとピーナッツペースト・トマトペーストを使った料理とヤッサソースと呼ばれる玉ネギソースで鶏肉等の具と煮合わせる、セネガルの家庭料理を2品作りました。



梅まつり

筑波山梅林で行われている筑波山梅まつりに、筑波山梅林ガイドツアーという名目で、英語観光ガイドボランティアが日本語講座受講生に対して、筑波山梅林や筑波山神社の案内をしました。英語観光ガイドボランティアは、梅林だけでなく、筑波山の成り立ちや岩石についての説明をして、外国人参加者は景色を楽しみながら、盛んに質問をしていました。

日本語講師養成講座

当協会で行っている日本語講座の講師を養成するため、日本語ボランティア講師入門講座を開講しました。23名の受講者のなかから5名の方が4月から講師として活動を始めました。

日本語講演会

「やさしい日本語をつかう」講座を開催しました。

ある全国調査において、母語以外でわかる言語を問う質問（複数回答）に対して、日本語62.6%、英語44.0%という結果にあるように、日本語で伝えることは重要です。そのようななか、一橋大学国際教育センター准教授柳田直美先生を招いて、「やさしい日本語を使う」と題してご講演いただきました。外国人との接触場面での使い方、実習を交えた学習の機会として、つくば市および周辺市町村の日本語ボランティア講師が多数参加しました。



Notice Board

つくば市国際交流協会 賛助会募集！

賛助会では、協会の活動の趣旨にご賛同いただけるみなさまからの資金面でのご支援を募っております。

賛助会費

個人：1口 2,000円／年
団体：1口 10,000円／年
法人：1口 20,000円／年

平成29年度賛助団体及び法人
(平成29年9月1日) (敬称略)

TIVONAの会、常陸興業(株)、一般社団法人
つくば観光コンベンション協会、医療法人健
佑会、(株)相澤建築設計事務所、朝日印刷株式
会社 計6件

※その他運営面を支援いただく各種ボラン
ティアがごいます。詳しくは当協会HP
をご覧ください。



加入記念グッズは「スライド式卓上カ
レンダー」。金と銀の2色、お好きなカ
ラーをお選びください。

世界お茶のみ話のお知らせ

～一杯のお茶から世界が見える～
世界お茶のみ話

毎月第3土曜日15:45～17:15まで、
BiViつくば交流サロンにて行っていま
す。

9月16日ブラジル編、10月21日モン
ゴル編が予定されています。

◆日時：毎月第3土曜日 15:45～17:15

◆場所：BiVi 2階 交流サロン

◆参加費：無料

編集・発行



(一財)つくば市国際交流協会

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1-10-1 つくばイノベーションプラザ内

TEL:029-869-7675 FAX:029-852-5513

ホームページ: <http://www.inter.or.jp/index.htm> メールアドレス: info@inter.or.jp

(平成29年9月1日発行)